



動物用医薬品 マクロライド系抗生物質

## タイラン水溶散

### 【本質の説明又は製造方法】

本剤の有効成分であるタイロシン酒石酸塩は、米国イーライリリー社によって発見されたマクロライド系の抗生物質で、マイコプラズマ及びグラム陽性菌などに抗菌力を示します。

### 【成分及び分量】

品名	タイラン水溶散
有効成分	タイロシン酒石酸塩

### 【効能又は効果】

有効菌種：アメリカ腐蛆病菌 (*Paenibacillus larvae*)  
適応症：みつばち：アメリカ腐蛆病の予防

### 【用法及び用量】

#### 【粉糖投与】

みつばちの成虫1万匹当たり、本剤をタイロシンとして50mg（力価）、粉糖5gに均一に添加し、週1回、3週間投与する。投与は本剤を添加した粉糖を育児箱の上部から散布して行う。ただし、投与量の上限は、育児箱当たり、タイロシンとして200mg（力価）（粉糖20gに添加）とする。

#### 【代用花粉投与】

みつばちの育児箱当たり、本剤をタイロシンとして200mg（力価）、代用花粉（市販の粉状飼料に、砂糖及び水を加えて調製したもの）250gに均一に添加し、適正容量のトレーに入れて固化したものを育児箱内の巣枠の上に本剤添加代用花粉の面が下側となるように設置し、週1回、3週間投与する。

### 【使用上の注意】

#### （基本的事項）

#### 1. 守らなければならないこと

##### （制限事項）

#### 【粉糖投与、代用花粉投与共通】

- 本剤は集蜜期には使用しないこと。
- 本剤を投与する育児箱には、本剤の3回目投与1週間後までは採蜜用の継箱を設置しないこと。やむを得ず3回目投与1週間を待たずに継箱を設置した場合には、3回目投与1週間後に継箱内のはちみつ等を取り除くこと。また、取り除いたのはちみつは、食用に供する目的で出荷しないこと。
- 本剤の投与期間後（3回目投与1週間後）までに貯められたのはちみつにはタイロシンが残留基準値を超えて含まれているおそれがあることから、人の食用に供する目的で採蜜しないこと。
- 継箱を設置する際は新たな巣板を使用し、育児箱内の巣板は継箱内に移動しないこと。やむを得ず育児箱内の巣板を継箱内に移動させる場合は、当該巣板から可能な限りはちみつを除去したうえで他の巣板と区別する印をつけ、当該巣板に貯まったのはちみつは人の食用に供する目的で採蜜しないこと。

#### 【粉糖投与】

- 本剤を粉糖に添加して投与する場合は、成虫1万匹当たり、タイロシンとして50mg（力価）を、粉糖5gに均一に添加し、週1回、3週間投与すること。成虫の数に比例させて投与量を調整（例：成虫として2万匹飼養規模の場合には1回当たり100mg（力価）、5千匹飼養規模の場合には1回当たり25mg（力価））すること。
- 継箱の設置時に育児箱に本剤を添加した粉糖が残っている場合には、へら等で取り除いた上で設置すること。

#### 【代用花粉投与】

- 本剤添加代用花粉は1週間隔で3回投与を行う。いずれの投与後も1週間後に前回投与の代用花粉（トレー）を回収し、次の投与が必要な場合、新しい本剤添加代用花粉を設置する。回収した代用花粉（トレー）は、再使用せず、焼却する等により適切に処理すること。
- 3回目投与1週間後以降に設置された継箱内の初期のはちみつにはタイロシンが残留基準値を超えて含まれているおそれがあることから、食用に供するはちみつの集蜜開始前に、継箱内のはちみつを継箱1箱あたり5kg以上取り除くこと。また、取り除いたのはちみつは食用に供する目的で出荷しないこと。

#### （一般的注意）

#### 【粉糖投与、代用花粉投与共通】

- 本剤は効能・効果において定められた適応症の予防にのみ使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であっても、それを反復する投与は避けること。
- 本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、適応症の予防上必要な最小限の期間の投与に止めること。
- 本剤を投与した育児箱内のはちみつ、ローヤルゼリー等には、タイロシンが残留基準値を超えて残留しているおそれがあるため、食用に供する目的で出荷しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、事前に最寄りの家畜保健衛生所に相談の上、指導を受けること。

#### （使用者に対する注意）

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 本剤の取扱いにより、皮膚の紅斑、浮腫等の起炎性の反応が報告されていることから、作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう、また、皮膚に付着しないよう注意すること。
- 取扱い後、顔や手を石鹸と水で洗うこと。
- 万一眼に入った場合には、直ちに水でよく洗うこと。万一刺激が持続するようであれば、医師に相談すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤は有効期間内に使用すること、また、有効期間内であっても、開封後は多湿を避けること。
- 食品と区別して保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

[粉糖投与、代用花粉投与共通]

- 本剤を添加した粉糖を育児箱に散布する際、及び本剤を代用花粉に添加し調製する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意すること。

(取り扱いに関する注意)

[代用花粉投与]

- 本剤を添加した代用花粉は保存できないため、必要の都度、調製して使用すること。

(みつばちに関する注意)

[粉糖投与、代用花粉投与共通]

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

(取扱上の注意)

[粉糖投与、代用花粉投与共通]

- 本剤は、直射日光下での使用は避けること。

## 【薬理学的情報等】

(抗菌作用)

タイロシンは感受性菌に対し、そのタンパク合成を阻害することにより作用する。

## 【製品情報お問い合わせ先】


アリスタライフサイエンス株式会社  
東京都中央区日本橋一丁目 4 番 1 号  
TEL : 03-5203-9350  
月～金 / 10 時～17 時

製造販売元 (輸入発売元)

**Elanco** エランコジャパン株式会社  
東京都港区赤坂四丁目 15 番 1 号

販売元

アリスタライフサイエンス株式会社  
東京都中央区日本橋一丁目 4 番 1 号

タイラン、Elanco 及び  : エランコ又はその関連会社の商標です。

©2025 Elanco or its affiliates

PA403603X A4

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

## 【準備するもの】

項目	内容
(1) 砂糖	1.6kg (養蜂用グラニュー糖等*)
(2) 代用花粉	500g (ビーブリードプラス等**)
(3) タイラン水溶散	2g
(4) お湯	400mL (又は 400g、約 50°C)
(5) トレー	10 枚 (1 枚あたり 250g 容量)
(6) 道具類	以下参照

\*日本養蜂協会幹旋物資

\*\*日本養蜂協会幹旋物資 (フィード・ワン(株)社製)

## 使用道具

- 直径 40cm 程度のボウル × 2 (混合用・計量用)
- 木べら (混合用、力が入りやすい)
- おたま × 2 以上 (計量・分注用)
- 秤 (各材料の計量用)
- 水温計
- メジャーカップ (500mL 以上)
- ケトル (湯沸かし用)

## 【作成手順】

※寒冷期は室温 20°C 前後の環境で作業することを推奨。

### 1. 代用花粉とタイラン水溶散の混合

ボウルに代用花粉 500g を入れ、タイラン水溶散 2g を加えて均一になるまでよく混ぜる。

### 2. 砂糖水の作成

別のボウルに砂糖 1.6kg を入れ、50°C 程度のお湯 400mL (又は 400g) を加える。木べらでよく混ぜ、可能であれば 20 分程度放置して滑らかにする。

### 3. 砂糖水が人肌程度に冷めたら、タイラン水溶散を混ぜた代用花粉を加える。

### 4. 木べらで、粉状の代用花粉 + タイラン水溶散がなくなるまで、しっかり混ぜる。抵抗が強い場合はお湯を少量追加して調整 (※お湯を追加しすぎると巣箱内での垂れの原因となるため注意する)。

### 5. 木べらまたはおたまを使って、10 枚のトレーに手早く分注する (1 枚あたり 250g を目安に秤で確認)。

### 6. 直射日光を避けた涼しい場所で一晩静置し、翌日に給与する。

## 【注意】

- 冬季は常温水では混合が困難なため、必ずお湯を使用すること。
- 砂糖水に代用花粉を加えた後は粘度が高くなるため、ハンドミキサーの使用は不向き。木べらでの手混合を推奨。
- 作成翌日に給与するのが原則。1 日以内に使用しない場合はラップ等で密封し、冷蔵庫で保管。1 週間以内に使用すること。
- 本手順は日本養蜂協会幹旋物資「ビーブリードプラス (フィード・ワン(株)社製)」を使用した場合の例。他の代用花粉を使用する場合は、製品の調製法を確認の上、適切に対応すること。



注意—獣医師等の処方箋により使用すること  
注意—使用基準の定めるところにより使用すること

製造販売元(輸入発売元)  
エランコジャパン株式会社  
東京都港区赤坂四丁目15番1号

動物用医薬品 **要指示** **指定** **使用基準**  
マクロライド系抗生物質

## タイラン®水溶散

【成分及び分量】

品名	タイラン水溶散
有効成分	タイロシン酒石酸塩

【効能又は効果】

有効菌種: マイコプラズマ、ウレアプラズマ  
本剤感性的の菌種: ブドウ球菌、レンサ球菌  
適応症: 牛: マイコプラズマ性肺炎  
豚: 豚マイコプラズマ性肺炎  
鶏: 呼吸器性マイコプラズマ病

【貯法】 室温保存



添付文書確認用  
QRコード



07/22 E3135514NOJP  
2022年9月改訂 YL240313X 100255



動物用医薬品 **要指示** **指定** **使用基準**  
マクロライド系抗生物質

## タイラン®水溶散

【本剤の説明又は製造方法】

本剤の有効成分であるタイロシン酒石酸塩は、米国イーライリリー社によって発見されたマクロライド系の抗生物質で、マイコプラズマ及びグラム陽性菌などに抗菌力を示します。

【用法及び用量】

1 日 1 頭当たりタイロシンとして下記の量を水、代用乳または全乳に溶かして7日間経口投与する。  
牛(3カ月齢を超える牛を除く): 2g(カビ)  
飲水 1L 当たりタイロシンとして下記の量を均一に溶かして経口投与する。  
豚(1カ月齢を超える豚を除く): 250mg(カビ)  
鶏(産卵鶏を除く): 500mg(カビ)、1~5日

【薬理学的情報等】

(薬物動態)  
タイロシンは吸収性がよく、吸収されたタイロシンは消化管に移行し、再吸収される(腸管循環)。また、肺や炎症組織など pH の低い組織への移行性に優れている。  
(抗菌作用)  
タイロシンはブドウ球菌やレンサ球菌などのグラム陽性菌及びマイコプラズマ等に作用する。タイロシンは感受性菌に対し、そのタンパク合成を阻害することにより作用する。

1

【使用上の注意】  
(基本的事項)

1. 守らなければならないこと  
(一般的注意)

- 本剤は、要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
- 本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。
- 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内の投与であっても、それを反復する投与は避けること。
- 本剤の使用に当たっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療に必要な最小限の投与に止めること。
- 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意: 本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第 83 条の 4 の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(牛(生後 3 月を超えるものを除く。)、豚(生後 1 月を超えるものを除く。)、鶏(産卵鶏を除く。))について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。  
牛(生後 3 月を超えるものを除く。): 食用に供するために投与前 14 日間  
豚(生後 1 月を超えるものを除く。): 食用に供するために投与前 3 日間  
鶏(産卵鶏を除く。): 食用に供するために投与前 3 日間

2

(使用者に対する注意)

- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- 本剤の取扱いにより、皮膚の紅斑、浮腫等の起炎性の反応が報告されていることから、作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないよう、また、皮膚に付着しないよう注意すること。
- 取扱い後、顔や手を石鹸と水で洗うこと。
- 万一眼に入った場合には、直ちに水でよく洗うこと。万一刺激が持続するようであれば、医師に相談すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤は有効期限内に使用すること、また、有効期間内であっても、開封後は多湿を避けること。
- 食品と区別して保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

2. 使用に際して気を付けること

(対象動物に関する注意)


- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 3ヶ月齢以下であっても第一胃の発達が見られる子牛に本剤を水に溶かして投与すると、その吸収が悪くなるので、代用乳または全乳に溶かして投与すること。

3

【製品情報お問い合わせ先】

エランコジャパン株式会社 製品お問い合わせ窓口  
〒107-0052 東京都港区赤坂四丁目15番1号 TEL: 0120-41-8564  
月～金/9時～12時、13時～17時(祝日及び弊社休業日を除く)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

タイラン、Elanco 及び  : エランコ又はその関連会社の商標です。  
© 2022 Elanco or its affiliates

4